



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	(仮称)南町店舗併用マンション新築工事				BEE	0.6	BEEランク	B-	★★
------	---------------------	--	--	--	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.7	/5	がんばろう
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	がんばろう
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5	がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.8	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例 よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

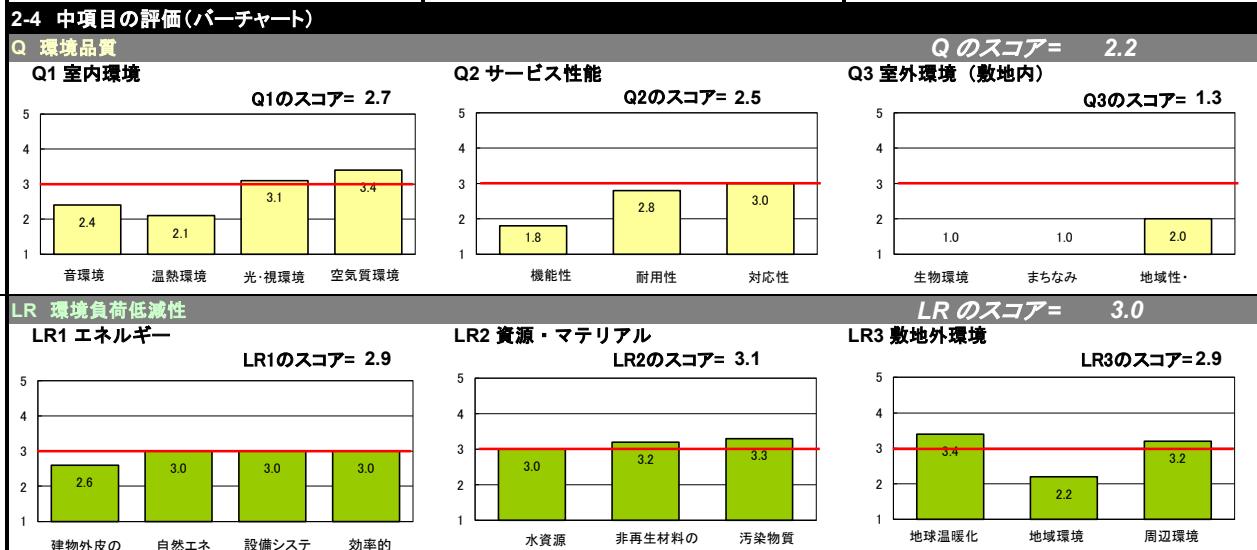
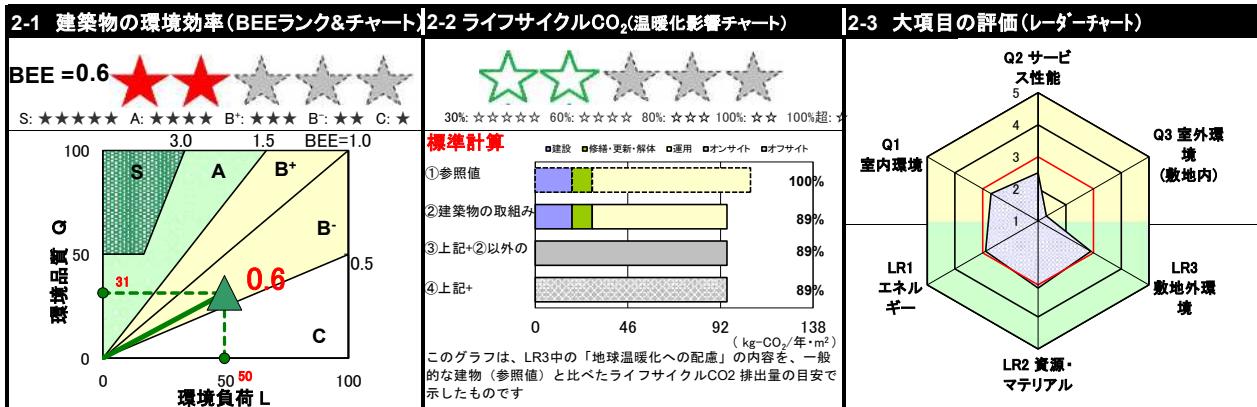
3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点 2.7						
■室内環境対策 (①室温制御/②星光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ③カーテンと庇にて星光制御してい		Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 星光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 星光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 軸体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要な内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔						
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上						
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特になし。		LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制						
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫LGSとGLプロアを使用している。 ⑬ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた 断熱材を採用。		LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雜排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築軸体等の継続使用 2.3 ⑫ 軸体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 軸体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.6 ⑫ 部品の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒						
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率が89%。		LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善						
"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)		得点 2.8						
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。		Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備						
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点 2.5						
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高:2.9m以上、3.0m未満。		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑳ 階高のゆとり 3.1.2 ⑳ 空間の形状・自由さ						
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。		Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上						
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点 1.8						
■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) 特になし。		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ⑦ まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上						
■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) 特になし。		LR-2 2 2.5 ㉕ 持続可能な森林から産出された木材 LR-3 2 2.2 ㉖ 温熱環境悪化の改善						

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南町店舗併用マンション新築工事	階数	地上5F
建設地	静岡県静岡市駿河区南町 9-3, 9-12, 9-23, 9-31	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	131 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院、集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年10月3日
敷地面積	674 m ²	作成者	小林 敏宏
建築面積	476 m ²	確認日	
延床面積	2,044 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE評価(2021年版)による評価結果です。		その他 特になし。
Q1 室内環境 2.0%≤ [昼光率] (住居・宿泊部分) カーテンと庇にて昼光制御している。 JIS・JAS規格のF★★★★をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 階高:2.9m以上、3.0m未満。 配管内配線により構造材・仕上材を痛めずに更新・修繕ができる。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEIm=0.83	LR2 資源・マテリアル LGSとGLフロアを使用している。 ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率が89%。 光害対策ガイドラインの項目の過半を満たす。また、広告照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される